

## 10.4 新校舎に育てた杉を利用

日南町<sup>あびれ</sup>阿毘縁にある「市民の山」の杉の木の伐採を行いました。

市民の山は、日野川の水を守るのに少しでも役立ちたいと昭和56年に市が購入し、昭和58～62年にかけて、市内の小学生が植林を行うなどして水源かん養林を整備してきました。

今回伐採した杉の木は、当時の小学生が植林したものも含まれ、現在改築工事を行っている第二中学校新校舎の腰壁などに利用する予定です。



## 10.7 移住者子孫と交流

北米移住120周年を記念し、境港市にゆかりのある移住者の子孫であるジェームス・イケブチさんら6人が来日し、市内観光のほか、小学校や公民館などを訪れ、市民との交流会が行われました。

上道公民館では、大正琴や傘踊りなどの芸能や、餅つき、お茶席などの日本文化を、市民と一緒に楽しみました。

来日された皆さんは「境港に来て良かった」と話されていました。

## 10.7 3年連続200万人突破！

水木しげるロードの入り込み客数が3年連続で年間200万人を突破しました。

7日に記念セレモニーが行われ、くす玉割りや記念品のプレゼントなど、鬼太郎やねこ娘など妖怪の仲間たちが、観光客の皆さんと一緒に200万人達成を祝いました。また、新たに仲間入りした3体の妖怪がデビューしました。

今年の水木しげるロードは、入り込み客数270万人が目標です。



©水木プロ



## 10.14 境港水産まつり！！

第29回境港水産まつりが開催され、県内外から約4万3千人が訪れました。

会場となった昭和町の魚市場周辺では、魚の直売や無料試食コーナー、まぐろ解体ショーやまぐろのセリ体験など、さかなのまち境港ならではの魚食普及イベントが行われました。

毎年恒例となったベニズワイガニ丸々1匹の無料試食には長蛇の列ができ、山積みの中から選んだ好みのカニを頬張り、秋の味覚を堪能していました。